

令和4年度 事業所向け児童発達支援評価表

ハッピーテラスキッズ柏ルーム

集計日：令和4年12月17日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指導訓練室は、29.7㎡あり、施設基準の一人当たり2.47㎡を満たしております。個別トレーニングなど、用途に合わせてパーティションを使用、時間割を設定するなど、児童それぞれの活動スペースを確保しております。	スペースの確保だけでなく、音、声への配慮や、感染症対策など十分な配慮を継続してまいります。
②職員の配置数は適切であるか	○		キッズ柏ルームでは、基本人員に加え加配として保育士を常勤配置、専門的支援として公認心理師を常勤配置しております。	児童の人数や課題に合わせて、人員を調整し適切な支援が出来るよう配置の工夫をしております。
③生活空間は、児童に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		玄関の階段では職員がベビーカーを運んだり手伝うことで負担を軽減するなど、人的配慮を行っております。また、パーティションなど視覚的な配慮を行い構造化を行っております。	同室に複数の児童と一緒に個別レッスンを行っているため、一部賑やかになっていることもあります。視覚だけでなく聴覚的な配慮が出来るよう環境を整えてまいります。
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		受け入れの合間に、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒作業を行っております。	今後も継続的に、換気、清掃をしております。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		今年度より年間予定を作成し、行事や職員研修等を整理しました。来年度以降も継続して年間予定を作成し、業務整理と改善を図っております。	次年度以降も質の良い支援を提供できるよう、業務の定期的な評価と改善をしております。
⑥保護者等向け評価表（アンケート）により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		事業所評価の他、保護者アンケートを2回実施しております。保護者の方の意見については適宜改善を図るよう努めております。	今後も継続的に、アンケートを実施し広く意見を求めてまいります。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ上に、自己評価結果の公表の他、「ハッピーテラス通信」といった会報、また事業所の情報を掲載しております。	今後も、ホームページの掲載は継続的に実施してまいります。また、事業所について理解していただけるよう情報の充実を図ってまいります。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	開所以来、第三者評価の実施は行っていません。	今後、受審について検討してまいります。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内での研修の他、千葉エリア4教室で月に一度勉強会を実施しております。	今後も、継続して質の継続的な向上を目指してまいります。
⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	○		ご利用前の体験時に、アセスメントと保護者の方から聞き取りを行い、分析を行っております。	通所後も継続してアセスメントとモニタリングを行ってまいります。
⑪子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	現在、アセスメントでの確認事項、聞き取り事項については標準化されたものを使用しております。ハッピーテラスキッズでは、現在標準的なツールを開発中です。	継続してアセスメントとモニタリングを行ってまいります。

⑫児童発達支援計画等には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○		子どもの課題へのアプローチの他、定期的な保護者面談の実施、通園されている園との連携や他の通所支援事業所との連携をとっております。	今後も、包括的な支援を行っていただけるよう努めてまいります。
⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画の短期目標に合わせたレッスン内容を考案しております。また、支援の記録についても、目標に沿った評価を残すように工夫しております。	今後も継続して、支援計画の内容を適切に評価できるよう工夫してまいります。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		常に、職員同士話し合いの場を持ちながらプログラムを考案しております。	担当者以外でもレッスンできるように、スタッフ間での共有を密にしております。
⑮活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○		それぞれのプログラムは、固定化されないよう複数人で行うように心がけております。	年間計画や発達課題に合わせた活動プログラムを考案していきます
⑯子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて支援計画を作成しているか	○		課題に合わせて、保護者の方と相談しながら、個別、集団的アプローチを組み合わせながら支援を行ってまいります。	定期的にあセスメントを行い、その時の課題に合わせたアプローチを継続して行ってまいります。
⑰支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		事前に共有し、授業内容や注意点、見るべきポイントの共通理解を図っております。	継続して共通理解を図ってまいります。
⑱支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか	○		支援日誌や、日報の記載時には全体で支援の共有を図っております。	今後も継続して支援の共有してまいります。
⑲日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		専用のクラウド型システムを使用し支援記録を管理しております。	支援を継続的に行うための検証、改善を常に行うよう心がけてまいります。
⑳定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		3～6か月に一度、ケース会議を開催しております。また、適宜面談を行い、保護者の方も交えて支援の見直しを行っております。	定期的な計画の評価を今後も継続してまいります。
㉑障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		サービス担当者会議には、基本的に児童発達支援管理責任者が参加しております。児童発達支援管理責任者はレッスンを担当している指導員より、具体的な目標や評価を共有されております。	課題に合わせて、心理担当職員の参画なども考慮してまいります。
㉒母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		市の基幹センターや、幼稚園、保育園、相談支援など関係機関と定期的な連携を行っております。	今後も包括的な視点で援助が出来るよう連携を深めてまいります。
㉓移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		プレの段階での連携や、日々通所先との連携と情報共有は必要に応じて行っております。	今後も包括的な視点で援助が出来るよう連携を深めてまいります。
㉔移行支援として、小学校や特別支援学校（初等部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者からの依頼時、就学支援シートの記入などにより情報共有を行っております。	今後も包括的な視点で援助が出来るよう連携を深めてまいります。

②⑤他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	療育相談など、自治体の取り組みに合わせて、連携、助言をいただいております。	今後も包括的な視点で援助が出来るよう連携を深めてまいります。
②⑥保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	ハッピーテラスキッズ柏ルームに通所されているお子さまは、ほどんどが保育園、幼稚園などに所属しておりますため、園での生活も充実するようサポートを心掛けております。	より充実した園生活が送れるようサポートを行ってまいります。
②⑦協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	柏市の子ども部会に本年も参加しております。	定期的に自立支援協議会に参加してまいります。
②⑧日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	毎回のレッスン時に、振り返りの時間を設けております。また、個別支援計画更新時には、保護者の方に対する計画評価の共有を短信にてしております。	今後も保護者の方との密な連携が取れるよう施策を講じてまいります。
②⑨保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○	レッスンの振り返りの際や、面談の中で個別にアドバイスしております。園との連携の中で保護者の方に向けた支援が提供できるよう配慮しております。	今後も保護者の方との密な連携が取れるよう施策を講じてまいります。
③⑩運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に、規程等について説明している他、負担額等に変更があった際には紙面にて共有しております。	今後も丁寧な説明を行ってまいります。
③⑪児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	支援計画について、保護者の方からの思いを汲み取るための面談に実施や、原案の詳細説明など保護者の方とともに考える時間を設けております。	今後も支援への理解と、保護者の方の思いと向き合うことが出来るように努めてまいります。
③⑫定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	定期的な面談の実施の他、保護者の方からの相談に適宜時間を設けて対応しております。	今後も支援への理解と、保護者の方の思いと向き合うことが出来るように努めてまいります。
③⑬父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	年中、年長向けの保護者会の開催を行っております。	対象児以外の年齢層の保護者の方との懇談会等を計画してまいります。
③⑭子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	定期的な面談の実施の他、保護者の方からの相談に適宜時間を設けて面談を行っております。	今後も支援への理解と、保護者の方の思いと向き合うことが出来るようにしてまいります。
③⑮定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月「ハッピーテラス通信」を発行しております。事業所に掲示している他、ホームページでも閲覧できるようにしております。	今後も継続して、保護者の方に必要な情報が提供できるよう発信してまいります。
③⑯個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	支援日誌は、クラウド型システムで管理しております。また、他事業所連携や見学時には、個人情報の取扱いに留意しながら受け入れ等をしております。	個人情報の取り扱いには十分に留意しながら管理してまいります。

㉗障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		保護者の方とのコミュニケーションツールとして、メールやSMSの活用をしております。お子さまとは特性に配慮しながら、視覚提示やイラストなどを用いて理解を促すような配慮を心掛けております。	今後も配慮を継続しながら、最適な情報伝達ができるようにしてまいります。
㉘事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	新型コロナウイルス感染症対策のため、地域開放は行っていません。今後情勢をみて検討してまいります。	感染状況等、情勢を踏まえ実施を検討してまいります。
㉙緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症 対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルに沿って、研修、訓練を実施しております。マニュアルについても保護者の方に周知できるツールを作成しております。	今後、いろいろな場面を想定した訓練を継続的に実施してまいります。
㉚非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に2回避難訓練を実施しております。	今後、救命救急等の訓練などより実践的な訓練を実施してまいります。
㉛事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		てんかんやアレルギーなど毎年緊急連絡票を更新していただき、お子さまの罹患状況との把握に努めております。	継続的に、状況把握に努めてまいります。
㉜食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		事業所内での飲食は原則行っておりませんが、アレルギーについては前段同様緊急連絡票に記載をお願いしております。	継続的に、状況把握に努めてまいります。
㉝ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎年年度末に向け、ヒヤリハットの年間集計を行い分析を行っております。	危険が想定されるものを、継続的に事例検討会を開催しながら改善してまいります。
㉞虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年に数回、全員参加の研修を実施しております。また、適宜柏市で開催される権利擁護等の研修に参加しております。	今後も、虐待を防止する施策を考え、絶対に起こることがないように取り組んでまいります。
㉟どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達 支援計画に記載しているか	○		今年度、身体拘束の3要件に該当されるお子さまはいませんでした。今後も必要に応じて会議等で検討してまいります。	保護者の方と綿密に話し合いながら、必要であれば検討してまいります。